
美女に勝てない善人

裏表ユイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美女に勝てない善人

【Nコード】

N1439BA

【作者名】

裏表ユイ

【あらすじ】

高校生になつた平凡・不憫・ツッコミ属性の前田 善。教室に入ると、目の前には美少女が。その美少女は、中学二年の終わりに善を助けてくれた…

善が一目惚れした少女だった。善は、入学して一週間もたたない内に、美少女に告白した。しかし、その少女の本性は…ドSだった…。他人の前では猫被りのドS美少女。人が善い為か美少女にこき使われる主人公。「www」しか言わないへのへのもへじのお面をつけている主人公の幼馴染。

今日も善は、二人を抑えられるのか!?

「何でこんな目に遭うんだろう…(泣)」by主人公

マエガキ by 作者（前書き）

これは、一種のプロローグみたいなものです。

本文は始まっていません。タイトルの通りの章です。

後に関わって来る（というより、最後の最後にしかないかもしれない）ので、

読んでも読まなくてもどちらでも結構です。

それでわ、どうぞ

マエガキ by 作者

僕は、作家だ。名前は…あるけどここでは教えられない。

作家になってお話を書くのは、小さいころからの夢だった。

いや…正確に言うと、このお話を書こうと思ったのは、大学生。

僕の…大切な大切な三年間の思い出。それを残したかった…。

この思い出を、僕が忘れないために。

仲間が、忘れても思い出せるように。

そして…僕の、いや、僕らの軌跡を残すために…

「何…してるの？」

僕の妻が来たようだ。

「僕らが出会った…あの三年間を残そうと思って」

「ああ…懐かしいな…」

そういつて微笑む妻。美人なだけに、絵になっている。

これは…僕たちだけの…物語。

マエガキ by 作者（後書き）

短いですか？

初めて書いたのと、最後の複線ということで、勘弁してください。

名乗り遅れました。自分、新人の裏表ユイと申します。

以後、宜しく願います。

再度いいますが、この複線は、本当に最後の最後にしかないかもしれません。

なので、スルーしてください結構です。

がんばりますので、宜しく願います。

一目惚れは最悪です… b y 奴隷一号(前書き)

サブタイトルの名前の部分は毎回変わります。

その話にあった名前にしているところと思っているのですが、がんばってだれか当ててみてください。

それでわ

一目惚れは最悪です… by 奴隷一号

今日は高校の入学式。何度体験しても、このドキドキは止まらない。バーコードの校長先生の催眠術師じゃないのっていう長いお話を聞き、僕はクラス表の所へ向かった。

1年2組か

僕はそう思い、自分のクラスへ向かう。なんともない高揚感と期待感に教室に向かう足取りは軽い。そんなことを考えていたら、教室の扉の前についた。ガラガラッ と音を立てて扉を開けるとそこには…美少女がいた。茶髪で腰まであるポニーテール。そのポニーテールを縛ってあるリボン。少々釣り目気味な目も、意思の強さをあげさせている。そして何より…僕が一年前に一目惚れした少女だということだ。

「こんにちは。私、女美^{じよみ} 優子^{ゆいこ}といます。これから宜しくお願ひしますね？」

「はっ、はい…。あっ！ぼっ、ぼく、前田^{まえだ} 善^{ぜん}といます…。よろしく…」

照れていた僕は、そのとき気がつかなかった…。女美さんが、悪魔の様な微笑みを…浮かべていることに…。

僕は、女美さんに告白した。

早い？そんなことはない。だって、一年間も思い続けていたんだ。一年ぶり（といっても、向こうが覚えているかはわからないけど）に好きな人を見たんだ。

思いが募っているのに告白しない手はない！ということだ…

「付き合ってください！！！」

一秒…二秒…三秒…時間が過ぎるのが、とても遅く感じる。

僕、小さいころから本番に緊張するタイプなんだ…。覚悟を決めたのに、今とても不安です…

すると、女美さんが何かをいった

「あつ………！！」

「『あ』？」

「あつはははははは！はははははははは！！！」

突如、女美さんが笑い出した。

…えっ！なんか変な薬でも飲んだ！？それとも笑い草！？それともそれとも…

一番最初に結論を出したのに慌て、なんでこうなったのか原因を探っている、笑い声が止んだ。

「だつ、大丈夫！？女美さん！」

「はあ？意味わかんねえこというなよ。俺に告白してきた馬鹿がいたから笑っただけだけ ぞ？」

いや、そっちの方が意味がわからないですから！つてか…え？前からこの声が聞こえてくるけど…まさか女美さんがいつてるはず…ないよな…？

「信じられないって顔してるな。まあ、そうだろ。俺の演技は完璧だかな！」

自信満々に言う女美さん。

まさか…本当に女美さんなのか…？

「まあ、信じるも信じないもお前しだいだ。久しぶりに面白いもん見してもらった。じゃなっ！」

そういつて去って行く女美さん。ふと、何かを思ったのが、こっちを向いてこういった。

「明日から俺の奴隷な？」

その後、僕は十五分くらい唖然としていた…

告白の翌日

そんなはずはない。そんなはずはない。そんなはずはない。

僕は、現実逃避をしながら学校に来た。

昨日の夜は、寝たらきつと夢なんだと信じて寝たけど…不安だ。きつと夢だ…！という期待をこめ、教室を開けると…

「よっ！奴隷一号クン？」

夢じゃ…なかったようです…

一目惚れは最悪です… by 奴隷一号（後書き）

このお話、実は親友の蒼（仮）と一緒に作ったものなんです。そうはいつても、最初の部分とキャラクター以外は別々でやってます。

蒼はうごめもで書いているんですが、パソコンができません。私はパソコンで書いているんですが、うごめもができません。なので、キャラクター以外は別々です。

一緒の所もありますけどね。

これからも（読んでくれる方がいたら）ぜひ読んでください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1439ba/>

美女に勝てない善人

2012年1月4日08時46分発行